

Esri User Conference 体験記

東京工業大学 廣川典昭

■参加会議概要

会 議：Esri User Conference

参加日程：平成 27 年 7 月 19 日～7 月 24 日

開催場所：Convention Center (San Diego, US)

■はじめに

Esri User Conference (UC) は年に一度 San Diego で開催される世界中の GIS ユーザが集う国際会議です。今年は 120 カ国から約 16,000 名のユーザが参加し、日本だけでも 80 名を超えるユーザが参加しました。このたび、私は幸運にも GIS を用いた学生の研究活動を奨励するための賞である、Esri Young Scholars Award をいただき、この UC に参加することができました。この体験記が少しでもこれからの受賞者の皆様の参考になれば幸いです。

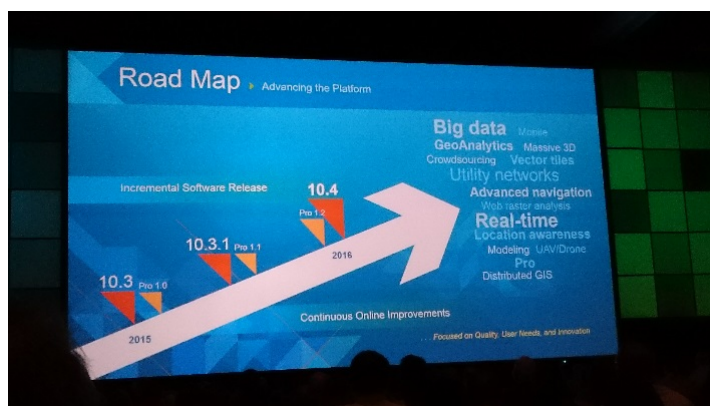
■入国～レジストレーション

ほぼ予定通りに San Diego 空港に到着し、入国審査等を終えタクシーに乗りました。空港を散策した方のお話では、空港内に無料のガイドブック（日本語）があるそうです。ホテルでチェックインを済ませ、少し休憩した後、レジストレーションのために convention center へむかいました。会場では冷房が強く、雨で少し濡れたこともあり、かなり冷えことを憶えています。レジストレーションは一瞬で終わり、残りの時間でストーリーマップ（web 上で GIS を使ったプレゼンテーション等が行える）の体験を受講しました。メインは翌日からでしたが会場は、満員状態になっていて驚きました。ストーリーマップは想像以上に簡単に操作ができ、プレゼン等で使ってみようと思います。特に最近はマイクロな分析が多いためズーム機能が便利だと感じました。

■基調講演・マップギャラリー・企業展示・事例発表

—基調講演

基調講演では、“Applying Geography Everywhere”をキーワードにネパール地震時の救援活動や被害状況把握した事例や、WHO によるエボラ根絶に向けて感染者ルートの可視化事例など、さまざまな問題への GIS 技術の応用について説明されていました。また今後進んでいくと思われる、Big Data 対応等にも期待できる内容でした。



—マップギャラリー

日本に比べオープンデータが多いためか、全体的に可視化事例が目立っていたように思います。Community cycleに関する研究事例や、避難に関する研究事例が特に印象に残っています。他の young scholar たちと研究内容について少し議論し親睦を深めました。

—企業展示・事例発表

私は NFC に関する企業展示や位置情報利用に関する企業展示を観て回りました。Startup 関係も見てみたかったのですが、残念ながらお話を伺うことができませんでした。事例発表について特に印象に残っているものは、ArcGIS で Agent Based



Simulation ができるということです。他にも、python での開発が思っていたよりも容易であることや、時系列のパターンマイニングなども興味深い内容が多かったです。

■現地調査・パーティ

Conference は夕方には終わるため、現地で仲良くなった方々と一緒に食事や野球観戦を行うことができました。野球観戦では、弱いと思われた地元チームが勝利し花火があがるなど貴重な体験ができました。最終日の party by the bay では、料理のほかに、ボルダリング等のアク



ティビティや乗船など想像以上に盛大で楽しめました。最後には、花火もあり、時間こそ短いですが迫力がありました（船上からの観賞が意外と穴場です）。

■まとめ

UC は私にとって、イベントに参加するなど楽しみながら研究発表や新製品に関する情報を入手できるとても貴重な体験でした。また、国内外の GIS 研究者の皆様からは今後の研究にも役立つ貴重な情報やご意見を頂くことができました。今後はこの UC に参加した経験を活かして、一層 GIS に関する研究に精進していきたいと思えます

最後に、UC 参加にあたり、ESRI ジャパン(株)の皆様、諸先生方、その他関係者各位に多大なご支援とご協力をいただきました。末筆ながらここに記して深甚の謝意を表します。